

患者由来オルガノイドを用いた子宮体癌における治療抵抗性の分子基盤解明

1. 研究の対象

主に対象となる患者さん：当院で2020年2月以降にCancer Cell Port がん細胞バンクの構築「診療目的で採取された血液や組織の残余試料、及び研究目的の追加採血等による試料の収集と提供」に同意された患者さんのうち、子宮体癌と診断された患者さん

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、子宮体癌において治療抵抗性を克服するための分子基盤を明らかにし、個別化治療戦略の確立に貢献することです。これを達成するため、外来生検検体および手術検体からオルガノイドを樹立し、薬剤感受性試験とRNAシーケンス、全エクソーム解析などの網羅的分子解析を組み合わせることで、薬剤応答性と腫瘍分子プロファイルとの相関を明らかにします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、病理組織結果、生存や再発の有無、カルテ番号 等

組織検体：Cancer Cell Port がん細胞バンク の構築「診療目的で採取された血液や組織の残余試料、及び研究目的の追加採血等による試料の収集と提供」に同意された子宮肉腫の患者さんの凍結検体

利用又は提供を開始する予定日：所属機関の長の研究実施許可日～2030年3月31日

4. 研究組織

主たる研究機関及び研究代表者

大阪国際がんセンター婦人科 北井 美穂

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター婦人科

研究責任者：北井美穂

大阪市中央区大手前3丁目1番69号

06-6945-1181